

会議録

会議の名称	令和7年度 第3回社会教育委員の会会議
開催日時	令和8年3月19日(木) 16:00~17:20
開催場所	イイヅカコミュニティセンター 3階 セミナー室
出席委員	猿渡 和則、氷室 敏幸、後藤 直巳、井上 節子、竹川 克幸、 江藤 ふじ子、吉村 好美、中野 靖彦、中山 道代
欠席委員	小田原 嘉朋
事務局職員	生涯学習課長、文化課長、生涯学習課長補佐兼中央公民館長、 文化財保護推進室長、生涯学習係長、中央公民館・図書館係長、 生涯学習ひろば担当主査、庄内交流センター長、颯田交流センター長、 事務局担当
会議内容	<p>1 開会 16:00</p> <p>2 教育委員会あいさつ(生涯学習課長)</p> <p>3 案件</p> <p>1 議案事項</p> <p>(1) 議案第1号 令和7年度生涯学習体系について配布資料に基づき事務局より説明</p> <p>【質疑】</p> <p>(委員)</p> <p>eスポーツがあるということで、私の知人は喜んで参加してみようかなと言っていたが、大体どのくらいの方が参加しているのか。</p> <p>(生涯学習ひろば担当主査)</p> <p>生涯学習ひろばの講座では、高齢者対象のスポーツ講座を2件実施した。どうしても機材の関係等があり、定員が大体12名。2つ講座をして、1つが定員12名に対して、参加は12名。もう1つの講座が、定員が8名に対して、3名で実施した。</p> <p>(委員)</p> <p>高齢者対象のため、eスポーツを皆さんがどの程度理解されてるのかなと思った。</p> <p>(生涯学習ひろば担当主査)</p> <p>今回実施したのは、「太鼓の達人」というソフトと、「ぷよぷよ」という落ちもののパズル。太鼓の達人は、お孫さんとしたことがある等</p>

会議内容

でイメージがしやすかったようで、ちょっとやってみたいなという高齢者の方が参加された。ぷよぷよは、いまいち分からず、初めてということもあって若干参加が少なかったが、来られた方は結構面白かったようだ。パズル形で脳トレのような感じにもなるため、また次あったら参加したいなという声は聞いている。

(委員)

私はちょっとどういうのか分からなかったので参加しなかったが、みんな知っていたらひょっとしたら良いかもしれないなという気はしている。

(生涯学習ひろば担当主査)

仰られたように、広報の部分に関しては、皆さんにどういったことをやってるのか等の広報にまだ課題はあると思っている。また8年度以降も続けていきたいと思っているため、工夫して広報していきたいと考えている。

(委員)

もし分かれば、行けたら行きたいなと思っている。

(委員)

関連して、今出たeスポーツは高齢者対象と言われているが、飯塚市は学生も多いため、その学生対象や、スマホ講座もそうだがeスポーツの高齢者の分に高校生や大学生が参加する例はあるのか。

(生涯学習ひろば担当主査)

今年度初めて取り組んだのが、今年2月の祝日に、小学生対象のスポーツ体験会と、もう1つ、一般の部の大会ということで中学生以上を対象に、大学生も参加はできるが、参加は今回なかった。

ただ今後の課題になるが、運営の中で、筑豊地区の中でeスポーツをされている一般社団法人と連携しながら実施している。そこが、飯塚ではないが、近隣の田川や直方でやっているイベントの中で、九工大にも機材を借りたり、九工大の地球っ子ネットワークがあるためスタッフとして、そこの学生さんに来ていただいているため、今後飯塚市でやっていく中で、そういった大学生にも協力してもらいながら実施できたらいいなと思っている。

(委員)

もちろん九工大があるので、そういう設備も持っているだろう。うちの大学にもそういうコースがある。学びに来た学生が実行形が出て

会議内容

いて、その講座やスポーツ体験の機材を貸出してサポートする。お互いに WIN・WIN になる。学校は、そういう教育の中でやられてる例が多い。

やってることは、私たちが子どもの頃にやっていたゲームや家族でやっているゲームの延長が、学びに至ったり、それをうちの大学では経済系にどういう産業にするかをやっている、

プロもいる。プロの人たちはこの間話を聞いたら契約が1年のようだ。プロ野球等と違って、1年で成果を出さないといけないことは非常に厳しい世界。だから、そういうプロの世界と、こういう風に社会教育の中の健康の部分にも入ってきているゲームを活用したeスポーツというのは、中学生ぐらいからそういう競技と一緒に参加して、大学生だと大学の学びの中にそういうコースがあるような時代になる。そういうことをどのように社会教育に入れていくのか、やはり課題になってきた。

片や、家であまりゲームをし過ぎないよ、ということも必要になってくるので、その境目が難しいところではあるかもしれない。

(生涯学習ひろば担当主査)

今年度、スマホの基本的な使い方ということで、市内12交流センターで1回ずつ、九工大の地球っ子ネットワークの学生さんを活用して、スマホの講座を実施した。

また穂波庁舎の3階でも例年スマホ講座を実施している。そこでLINEの使い方等について学生さんに来ていただいて活用しているという実績がある。

(委員)

そういう風に地域の学生が、高校生は難しくても大学生が出てきたりして、地域の公民館等でスマホの講座をするということは割と一般的になってきている。その経験が活きて、キャリアに結びついてる人たちも多くいるが、だんだんスマホや機械が進化しているため、それを繋ぐ人たちが本当にボランティアからその職業になりつつあるところが現状のようだ。

社会教育の中にも、これまでのパソコンが主流だったと思うが、スマホの活用等の教育利用があるようだ。

(2) 議案第2号 令和8年度生涯学習体系について配布資料に基づき事務局より説明

【質疑】

(委員)

会議内容

5 ページ。コミセンもきれいになったので、またこれからいろいろ利用できるなど思った。

公民館使用料のキャッシュレス決済や公民館施設のオンライン予約などの新たなサービスを導入しと書いてあるが、やっぱり従来なかったのか。それぞれで違ったのか、市全体でこれをするのか。

(中央公民館・図書館係長)

中央公民館と交流センター、スポーツ施設と合わせてシステムの導入をしている。

キャッシュレス決済については、3月から導入している。

オンライン予約は、令和8年度の早い段階での導入を目指している。

(委員)

共通の分でできるようになると。

(委員)

学校で、Lボラを活用した活動がされている。中学校の不登校対応として、校内サポート教室を全校で持ちなさいという教育委員会からの指示があった。それで人材がいなくて、その手当てとしてLボラを活用してていく中で、どうしても予算がなくなってしまって、1学期途中にもう打ち切ったという報告あったが、その後改善されて、補正予算ついたので今年いっぱい大丈夫ですよという返事をもらった。

次年度に向けて、そういった予算等はどのように考えられているのかを教えていただきたい。

(生涯学習係長)

令和8年度からは、不登校支援対策事業については、学校教育課の校内教育支援センター運営事業として行うようになっている。

(委員)

5 ページ、4 の現代的な課題への対応の遅れで、読書好きを育む環境づくり応援イベントとあるが、これは図書館を中心に市全体でされるのか、小中学生を対象にと書いてあるので学校図書室も巻き込んでされるのか、このイベントを実施する主体はどちらになるのか。

(中央公民館・図書館係長)

読書好きを育む環境づくりのイベントは、教育委員会の生涯学習課と図書館が一緒に実施している。今年度は、お話し会と絵本の世界のお菓子づくり体験ということで12月に実施した。

参加規模が大きく、10組の2回実施したが、全て埋まって20組の

<p>会議内容</p>	<p>53 名の方に親子で参加していただいた。</p> <p>(委員) 新規というよりは、従来されてるのがもっと力を入れてやっているということか。</p> <p>(中央公民館・図書館係長) そのとおりである。</p> <p>(生涯学習係長) 令和7年度、8年度の生涯学習体系について、軽微な修正があった場合は事務局の方で対応させていただきたい。</p> <p>(3) 議案第3号 令和8年度社会教育関係事業について配布資料に基づき事務局より説明</p> <p>【質疑】</p> <p>(委員) 2 ページ。子ども読書活動推進計画策定事業ということで、委員会を立ち上げて委員会で話し合っ進めていくということになっていたが、委員になれる方はどういう方が対象なのか。 私は初め小学生が対象なのかと思ったら、違うような気がした。</p> <p>(中央公民館・図書館係長) 策定委員会の委員選出区分は、学識経験者として図書館運営協議会の委員や、図書館ボランティア、子育て支援団体関係者、図書館関係者と行政職員等で構成している。</p> <p>(委員) 私は小学校5年生や6年生が委員の中に入ってくるのかなと思ったため、質問させていただいた。</p> <p>(委員) 1 ページ。飯塚市小中学校 PTA 連合会と書いてある。 確か4月26日に、県の小中学校PTA役員研修会が飯塚でやる予定になってると思う。</p> <p>(生涯学習係長) はい。コスモスコモンで。</p>
-------------	---

(委員)

生涯学習課とはあまり関係ないのか。他のところは九州大会等が書いてあるが書かなくてよいのか。

(生涯学習係長)

漏れていた。申し訳ない。

(委員)

大宰府の委員さんの方でも、結構飯塚でやるのは話題になっている。やりやすいと思う。会場が良くて人が集まりやすい。

飯塚でよくやっているイメージだが、毎年ではないのか。

(生涯学習係長)

県内持ち回りで行っている。

(委員)

コミセンが使えるようになって、いろんな行事が従来の形に戻ってきてる。

3 ページ。嘉飯桂未来塾でリーダー育成プログラムとされているが、今年度から中学生か。

もっと広く、前から声をかけられていたのかもしれないが、飯塚市だけではなく嘉麻市も桂川町も各自自治体の中学校に広く声をかけられてるということだと思うが、例えば嘉穂高校附属中学校。日新館等も対象になるのか。

(生涯学習係長)

嘉麻市、桂川町、飯塚市の中学 2 年生を対象に行っている。令和 8 年度はまだ協議中だが、1 年生も含めようかなというところである。

(委員)

ぜひ。小学校 6 年生や 5 年生でも良いと思うが、広く世代が繋がるように。単体の学年だけだとどうしても特に学校が大変なのはよく分かるが、若いリーダーをぜひ育てていただきたい。

2 報告事項

(1) 報告第 1 号 令和 7 年度生涯学習課・文化課事業進捗状況について配布資料に基づき事務局より説明

【質疑】

(委員)

アウトドアスクールスクールについて、少し説明していただきたい。

一般市民の方を公募しているが、どんな内容でしてあるのか。

(生涯学習係長)

飯塚レクリエーション研究会という団体をお願いして行っている事業である。外遊び中心で行っている事業である。

毎回定員を 20 名程度に設定して、大体親子で参加される方が多いが、デイキャンプということで幸袋交流センターのグラウンドで実施している。

調理体験や、火をつける体験、野草を取りに行く体験、ニュースポーツ、工作等を体験をする事業である。

(委員)

赤い字で書いてあるが、1年間の日程表か。

(生涯学習係長)

今年度行った日程である。

(委員)

参加者は延べ何名ぐらいか。

(生涯学習係長)

70名ぐらいである。

(委員)

ちょっと少ない。宣伝不足かな。

穂波にも不便の家があるが、だんだん利用者が少なくなっている。竜王山の中腹にあるが、高校生が使っている。

(委員)

筑穂町の上穂波小学校で学び塾を当初からやってきた。皆さん高齢になって、亡くなったり認知症だったりして、閉鎖することにした。子どもとあまり関わらないなあと思って、がっかりだった。

税金の話を学校がして、はがきを合同庁舎のホールで上穂波小学校の5年生・6年生のはがきを全部貼って、そのときにうちの孫も貼られてたが、それ見たときはうれしかった。

イオン穂波店でもホールで、税金は何で、どんな風に使われるのか、子どもたちが絵はがきを書いて展示されていた。とても良いことだと

思った。税金の使い道を学校で教えていただいて、自分たちはこうして使ってるんだみたいなはがきになっていた。

合同庁舎で税金を払ったりするから、穂波やゆめタウンの人通りの多いところに学校教育として、そういった展示をどんどんしていただきたい。孫たちとか近所の子どもたちや食堂の子どもたちも、おばあちゃん出てたよと言って、すごくお母さんも喜んでたし、私たちもスタッフもみんな喜んでた。

学校教育の中に子どもを社会に巻き込んで、学校教育がいいことしてるなあと感心して、これからも続けてほしいなと思っている。ありがとう。

(委員)

ずっと続けていただいて、本当に感謝している。

今出たような問題がいろんなところで報告書にも書いてあったが、そういったものをどのように社会教育的に続けていくかということが、今後のいろんなこの社会教育だけではなく、課題になってきていると思う。

(委員)

マナビ塾はずっと学校で行われていたが、やはり市民だけが立ち上がっても行政が進んで開催できるようにしていただきたい。私もまだ元気だからまだまだ若いお母さんたちと一緒に学びたいなと思っている。そこで何か学べると思う。

それで年に1回、発表会しているが、寂しい。やはり行政の力で1個1個学び塾を立ち上げていただきたいと思っている。

(委員)

長年、マナビ塾であったりいろんな講座で講師されてた先生が、病気になったりして後継者をどうするかというのは、またその団体さんで考えないといけない問題もあるが、ぜひ行政の方も考慮いただいて、地域から新しい学びの形を見出していきたいと思う。

(2) 報告第2号 飯塚市教育委員会事業評価結果(令和6年度分)
について配布資料に基づき事務局より説明

【質疑】

(委員)

13ページ。ホーケントウ古墳が県指定になったということだが、県指定になったら何か今の現状と変わるのか。

	<p>(文化財保護推進室長) 特に変わることはない。現状のままで保存していく。</p> <p>(委員) 私、飯塚観光協会で、社会教育とは違うが、飯塚観光マイスターで、観光案内員ではないが学ぶ会ができていて、今度そのアドバイザーみたいなことをやるようになった。今後いろんな教育事業の観光の授業でも、文化観光の学びの観光みたいなことが出てきて、そういう学ぶ人たちが今、結構高齢な方だけではなく若い40代とか50代の方も集まっている。総会で、ぜひもう少しデジタルミュージアムを分かりやすく、市民がもう少し活用しやすいような情報が市のホームページやLINE等で使えるようにはなっているが、こういった市が発信される情報を、もっと市民に分かりやすく使えるような工夫をしていただけるとありがたい。</p> <p>多分小学校や中学校の教育の現場の先生方が結構言われているので、ここに出てる御意見は評価書なので、また今後の施策に生かしていただければと思う。</p> <p>4 その他 (委員) 7月に社会教育委員の中で県の表彰は、10年以上すれば表彰対象ということで、行政よろしく頼む。 竹川委員が10年になるか。</p> <p>(委員) 確認しておく。</p> <p>5 閉式 17:20</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・令和7年度生涯学習体系 ・令和8年度生涯学習体系 ・令和8年度生涯学習課事業スケジュール ・令和7年度生涯学習課・文化課事業進捗状況 ・飯塚市教育委員会事業評価結果（令和6年度分）
<p>公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者0人)</p>
<p>その他 (非公開理由等)</p>	